

ふるさとの風

秋晴れの中、盛大に開催 一之宮町文化祭

3年ぶりに芸能発表と収穫祭を開催する一之宮町文化祭が11月3日、一之宮公民館や支所駐車場などで行われ、約700人の来場がありました。

新型コロナウイルスの影響で毎年、規模縮小が続いた文化祭ですが、今回は様々な対策を講じて安全に開催できるように取り組みました。当日の晴天も相まって、多くの来場者の笑顔があふれる一日となりました。



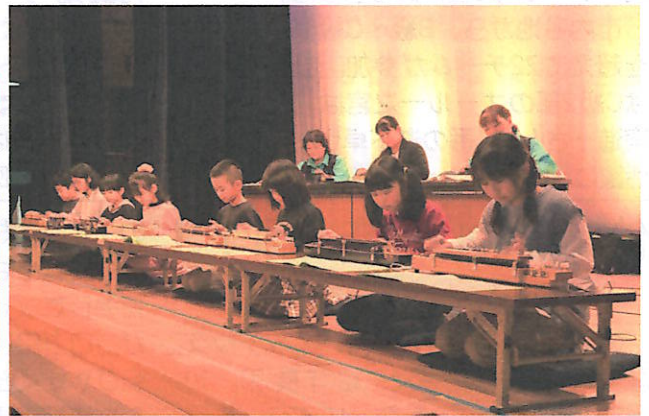
ホールで行われた芸能発表 ④⑤ (一之宮公民館)



力作がそろった作品展示 (飛騨位山文化交流館)



しめ縄作りを体験する参加者 (支所駐車場)



TOPIC 文化祭を運営した中学生

宮中学校の生徒は、今回の文化祭運営に幅広く参画しました。ホールで行われた芸能発表はもちろん、駐車場でも明るく活躍する姿が印象的でした。



会場入り口で来場者に検温と手指消毒を促す



商品や代金の受け渡しもバッチリ



笑顔で接客対応!!お客さんも笑みがこぼれます



町のマスコットキャラクターを選挙投票も実施しました

3年ぶりの対面交流会

宮小児童の岩瀬小訪問記

宮小学校と富山市岩瀬小学校は、宮川・神通川の源流と河口の縁で、長い交流の歴史があります。コロナ禍のため3年間中断していた交流を10月5日に宮小児童が岩瀬小を訪問して、5年生同士の交流会を開くことができました。

会場では、初めにゲームでお互いが打ち解けた後、宮小児童は6月に行われた宮川源流探検を基に、宮川を通して考えた自然環境のクイズで自分たちの思いを

発表しました。また岩瀬小児童は、岩瀬地区の紹介で寸劇を交えながら、面白く発表してく

れました。その後、小グループに分かれて交流の場が設けられ、お互いを知る良い時間になりました。

また神通川河口では、宮川源流と同じ水のきれいさを図る検査を行いました。



小グループに分かれての交流



源流探検を発表する宮小児童

結果は源流部では一番きれいな値「0」に対して、河口部では汚れている値「5」の値を示し、川の変化を知る良い体験もできました。

トーナメント戦で3位！

軟式野球“オール之宮”

軟式野球のサッポロビール杯高山選手権トーナメント大会が9月～10月にかけて開催され、オール之宮(大久保道彦代表)が、見事3位に輝きました。

市内各地から、B級・C級クラスの枠を超えて22チームが参加。リーグ戦ではC級2部のオール之宮は、エースの南進一さん、4番の道下卓也さんなどの活躍によりトーナメントを勝ち上がり、

準決勝戦では優勝したJAひだにタイプレークの前、惜しくも敗れましたが同率3位となりました。

このチームは以前の壮年野球部が元となっており、40代以上のメンバーの減少により20代の若者を加えてチームを再編成。チーム名も“オール之宮”に変更しました。春からのリーグ戦、秋のトーナメントと野球シーズンをフルに活動しています。

選手たちは「来シーズンはリーグ戦のクラスも1部へと昇格することとなり、

更なる飛躍を目指して野球を楽しみ、頑張りたい」と抱負を語りました。



オール之宮の皆さん

位山をのぼりきろう！！

宮保育園さくら組位山登山

6月に位山道石畳入口からモンデウス駐車場まで登ったさくら組(年長児)。10月25日には「位山を登り切ろう」を目標に、展望台を目指しました。

背丈より高いススキの道を歩き、途中、ちょっと渋いグミの実を食べたり、大きなどんぐりを拾ったりしながら1時間ほどかけて展望台に到着。頂上では眼下に広がる一之宮町、保育園のみんなに向かって大声で「こ～んに～ちは～」と叫び、ど

の子もとてもすがすがしい表情をしていました。山は時々風も吹き寒くも感じ、持参したジャンパーを着ていざ下山。石がゴロゴロして足場の悪い帰り道は転びやすく怪我にもつながります。同行した岩畑理事さんに「体を横にしてゆっくり歩くんだよ」と教えていただきました。イノシシの足跡やシカの糞などを発見。刈安牧場からは、自由に芝生を駆け下り、1時間ほどかけて下山しました。

最後まで自分の力で登り切れたこと、色んな体験をさせてもらった位山に、みんなで「ありがとうございました」と挨拶

をし、帰園しました。地元の山を登る貴重な体験ができました。



こ～んに～ちは～

まち協文化教養部研修会

熱田神宮となばなの里を訪問

まち協文化教養部主催の「文化研修会」が11月13日に開催されました。これは、一之宮町にルーツを持つ文化を訪ねるもので、3年ぶりとなる今年は熱田神宮となばなの里へ行きました。



熱田神宮正式参拝

熱田神宮と飛騨一宮水無神社とは、昭和20(1945)年の一時期、熱田神宮の御霊代である草薙御剣(皇位継承のしるしである



参加者の皆さん

三種の神器の一つ)が水無神社に一時避難していたことが縁で今でも深い関係があります。

小雨の熱田神宮でしたが、とても温かいお招きを受け、多くの参拝者の中、別会場で正式参拝、その後広間でお茶と落

雁をいただきながら、草薙御剣の由縁の話をお聞きました。

なばなの里では、多種大量のペゴニアに圧巻。頭上から下がっている数々の大きな鉢には月日の流れが読みとれました。

感染対策のため、大型バスでの定員を20名にし、久しぶりのゆったり日帰り研修で心も体も満たされました。



圧巻のペゴニアガーデン(なばなの里)

いいね!



一之宮

思わずいいね! したくなる出来事をご紹介します

宮の子どもたち、野球と駅伝で大健闘!!

一之宮クラブ、新人戦優勝

創立45年を迎えた少年野球の一之宮クラブ(26人、山下敦彦監督)が、10月に行われた令和4年度学童新人戦軟式野球高山大会で優勝しました。新人戦での優勝は合併後初の快挙です。

13チームが出場した今大会で、1回戦は江名子に23対0、2回戦は東丹生川に23対0、準決勝は国府に15対0と圧勝。決勝戦は清見に6対2で勝利し、優勝を飾りました。

なお、当クラブではクラブ員を募集中です。お申し込みは育成会会長・堤史郎(☎090-2617-9522)までお願いします。



一之宮クラブの皆さん

宮中野球部、市大会で優勝

全日本春季軟式野球高山市大会が9月10日に行われ、宮・日枝・朝日久々野クラブが優勝しました。

このクラブは宮中生徒7人を含む合同クラブで、キャプテンは同校2年の佐藤諒弥さんです。他校と一緒に練習する時間は少なかったものの、効率よく取り組み、出場4チームの中から、見事に栄光をつかみました。なお、県大会に出場し、健闘しました。



宮中野球部の皆さん

宮中女子駅伝、県大会でも健闘

地区大会で好成績を収めた宮中学校の女子駅伝チーム(大森那菜キャプテン・3年)が11月12日、山県市で行われた中体連県大会女子駅伝の部に出場し、26チーム中20位でゴールしました。

各地区の強豪チームが多数参加した中、毎日の朝夕の練習成果を存分に発揮し、健闘しました。

野球部同様、今後の活躍を期待しています。



宮中女子駅伝チームの皆さん

ぼくのなまえ☆
わたしのなまえ

とき
登基くん

令和3年6月17日生まれ

お父さん: 吉川 礼さん
お母さん: 吉川 奈里さん 《問坂下》

「登」は一步一步自力でより高い場所に登るという意味から、苦難があっても諦めずに立ち向かえるように。「基」は根本、建物の土台という意味から、どっしりと構えて固りを支えられる逞しい子になってほしいという願いを込めています。

1歳になってからは、2人の姉の後ろを走って追いかけて、2人がやる事を一生懸命真似する姿がとても微笑ましいです。

3人にはそれぞれ意味の違う「き」を名前に付けました。明希、結喜、登基、3人の子ども達が未来に希望や喜びを見出し、逞しく自分の足で歩いて行けるように見守っていきます。



図書館だより

今年も高山市図書館一之宮分館をご利用いただきありがとうございました。館内はクリスマス一色。サンタさんの登場するクリスマス絵本も多数とりそろえておりますので、ぜひご利用ください。

【年末年始の休館日: 12月29日(木)~1月3日(火)】

<今月の特集>

★「映画化された本」

過去に映画化された小説を読んでみませんか?

●他の分館と350冊の資料交換を行いました。

配送資料コーナーにて、ご覧いただけます。

●高山市図書館「煥章館」は、12月4日(日)~10日(土)の期間、蔵書点検のため休館します。(一之宮分館ははじめ各分館は通常通り開館します)

●一之宮町まちづくり協議会公式LINEで、【図書館情報】を発信中です。



